

## 第2節 報道対応と広報

### (1) 報道対応

#### (報道を通じた感染者数の公表)

第3波による令和3年明け頃からの感染者急増に伴い、健康局の体制がひっ迫する一方、会見における質問が定型化してきたこともあり、会見開催に関する基準の見直しを行った。陽性患者発生に関する追加情報の提供は、クラスターも含めて基本的に資料配布により行うこととし、① 感染拡大防止の観点から不特定多数の方への呼びかけなど、神戸市が必要と判断した場合、② 記者クラブからの要請があった場合については別途記者説明を調整することとした。

#### (記者会見を通じた積極的な情報発信)

令和2年3月の感染患者発生以後、市長定例会見及び市長臨時会見を計85回開催(令和3年11月15日現在)。新型コロナワクチンの段階的な接種に併せて、接種に係る必要な情報をよりの確かつきめ細かく提供すべく、市長より市民に直接伝えるようにした。

また、局の臨時会見も127回開催(令和3年11月15日現在)し、状況の変化に応じて迅速かつ柔軟な情報発信に努めた。

市長会見については、引き続き市民の関心が高いことからライブ配信を継続し、オンラインで参加する記者の質問に質疑URLを設けて受け付け対応した。

### (2) 各種媒体による市民への情報発信

#### (市ホームページを通じた情報発信)

令和3年4月から及び令和3年8月からの緊急事態宣言発令時には、市ホームページのトップページに赤色の枠を設けて新型コロナウイルスに関する情報提供や注意喚起を行うとともに、トップページのバナーで市民への積極的な情報発信を行った。緊急事態宣言解除期間中も、トップページに青色の枠を設けて必要な情報提供を行った。

また、新型コロナワクチンに関する情報について、4月から市民の接種予約が本格的に始まることにあわせ、特設ページを分かりやすく情報分類した。また、ワクチン接種のニーズの変化を踏まえて、常に最新情報への更新や構成改善を行った。

令和2年度から情報をまとめている「新型コロナ関連情報」や「支援総合サイト」についても継続的な更新を行った。また、多言語での情報提供について、これまで作成していた「英語」、「簡体中文」、「ベトナム語」に加えて「繁体中文」と、さらにこれら4言語以外の外国人にも広く情報提供するため、在住外国人の間で一番多く理解いただける「やさしい日本語」による特設ページを作成し、トップページにリンクを分かりやすく表示した。

ホームページへのアクセス数は、令和2年度は1日あたり平均約28万PVだったが、令和3年度前半(令和3年4月～9月)はワクチン関連情報のニーズが高く、1日あた

り平均約 44 万 PV と大きく増えた。

### **(広報紙を通じた情報発信)**

第 4 波の到来による感染拡大を受け、「新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ」を毎号掲載し、4 月号・5 月号では感染拡大防止に向けた対策の呼びかけや、ワクチン接種に関する情報を掲載した。

また、6 月号・7 月号を表紙から 4 面までをコロナ特集とし、ワクチン接種や予約方法等に関する情報を掲載したほか、8 月号以降も引き続き、ワクチンの効果や予約スケジュールなどについて情報発信を行った。

### **(市公式 SNS 等を通じた情報発信)**

市公式 SNS 等を通じた情報発信として、市公式 Twitter および Facebook、LINE を通じて、毎日の感染者数の速報を土日祝日も含め継続して配信を行ったほか、ワクチン接種に関する情報を随時配信した。LINE では、緊急事態宣言の発令やワクチン接種の予約枠拡大などの重要情報を登録者全員に一斉配信するとともに、希望する方にはより詳細な感染状況やワクチン接種に関する情報の配信を行った。

### **(動画等による情報発信、市民への呼びかけ)**

市長をはじめ、医療従事者、新型コロナ感染者による感染対策に関するメッセージを市民に届けるため、デジタルサイネージや YouTube 広告を使った動画配信を実施した。

(配信事例)

#### **【市長からのメッセージ】**

緊急事態宣言～助かる命を助けるために～ (4 月 27 日)

神戸市独自の大規模ワクチン接種会場の設置 (5 月 18 日)

若年層向けワクチン優先接種会場の開設 (9 月 22 日)

#### **【医療従事者、新型コロナ感染者からのメッセージ】**

「今、できることを～自分からできるコロナ対策を考える～」(中央市民病院、西神戸医療センター) (4 月 30 日)

新型コロナウイルス感染者の体験談 (5 月 31 日)

新型コロナワクチンに対する誤解について (神戸市看護大学学長メッセージ) (8 月 27 日)

また、市長自らテレビ番組に出演し、神戸市の医療体制の入院調整中の方への支援、ワクチン接種状況などについて市民に向けて発信を行った。

### **(スピーカー付き車両を使った広報)**

ワクチン予約方法やワクチン接種会場、接種にあたっての留意点など、ワクチン接種に関する情報について、スピーカー付き車両によるアナウンスを行いながら市内を巡回

した。

### **(3) 不当な偏見・差別の防止、医療従事者等への支援**

令和2年4月13日より新型コロナウイルス感染症に関して風評被害を受けた方の相談窓口を設置した。

開設当初の相談は、外出自粛、感染リスク、仕事の減少などに対する、漠然とした不安からストレスがたまっている印象の相談が多かったが、職場や地域などでの具体的な問題に関する相談のウエイトが高くなった。

相談窓口に寄せられた電話相談は令和3年9月末日現在で61件、そのうち医療従事者への風評被害に関するものは、3件である。

啓発事業では、人権啓発ポスターを各自治会に配布し、自治会掲示板に掲示していただいたほか、令和2年7月28日から8月末まで、神戸国際会館デジタルサイネージにおいて神戸製鋼コベルコスティーラーズ3選手からの医療従事者への応援メッセージとともに、人権への配慮を呼びかける啓発メッセージを放映した。

また、12月4日から28日まで、各区役所、神戸国際会館デジタルサイネージ、神戸市ホームページにおいて、ヴィッセル神戸の3選手による人権啓発メッセージを放映した。

さらに、感染者やその家族、医療従事者等の人権が尊重され、差別的な取扱いを受けることのないよう、偏見や差別を防止するための規定を新たに設けた「新型インフルエンザ等対策特別措置法」が令和3年2月に改正され、その主旨を市ホームページに掲載し、周知を図った。

### **(4) こうべ医療者応援ファンド**

令和2年11月頃からの新型コロナ感染症の拡大(第3波)を受け、市は、医療機関や医療従事者へのさらなる支援を行うため、ファンドに対して50,000千円の拠出を行った。こうべ医療者応援ファン座配分委員会は、当該拠出金と集まっていた寄附金を合わせて、令和2年10月1日から令和3年2月末までに新型コロナウイルス感染症の入院患者の受け入れ実績のある市内医療機関に勤務する医療従事者に1万円のQUOカードを配分(15,767人分)することを決定(令和3年3月30日)した。

また、令和3年4月以降の感染拡大(第4波)により、神戸市から依頼を受けた訪問看護ステーションの看護師がコロナ感染症の自宅療養者へ訪問する件数が急激に増加したため、これらのステーションに勤務する職員に対しても1万円のQUOカードを配分(241人分)することを決定した(令和3年7月14日公表)。

こうべ医療者応援ファンドは、令和3年4月以降、ふるさと納税制度も活用しながら引き続き、市民、企業、団体の方から多くの支援をいただいております。寄付総額は令和3年9月21日時点で、3,903件、717,656,039円となった。

## (5) 新型コロナウイルス感染症による影響調査

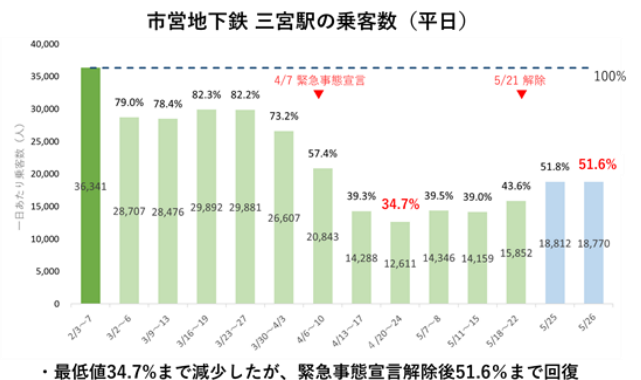
### (第1波の緊急事態宣言解除後におけるデータ解析班のミッションと体制)

第1波時と同様、効果的な新型コロナウイルス対策を推進していくため、行政データに留まらず、人の動きの解析等、多様なデータを収集、解析すること、また、その結果を可視化し、ホームページなどでわかりやすく市民の皆様にお知らせし、行動変容につなげた。

班の体制については、第1波が落ち着いた令和2年5月27日以降、第1波時の9名から3名に体制を縮小し活動を継続した。そして、新規感染者数が増加し始めた7月30日に、それまで企画調整局内に設置していた「データ解析班」を、健康局兼務とし、健康局から直接、「市内での患者の発生状況について」適切な情報発信を行う体制をとることとなった。

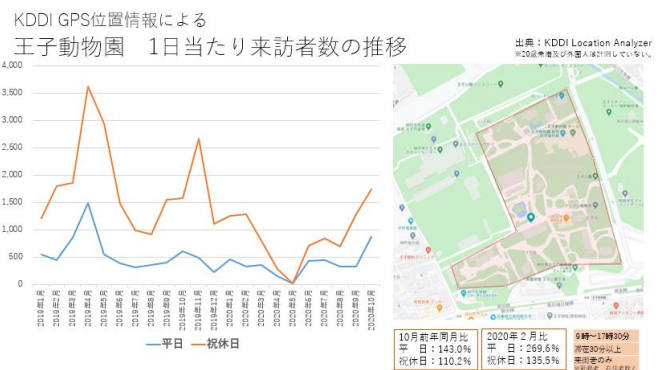
### (人の動きの解析)

第1波の緊急事態宣言解除後は、三宮エリアにどれくらいのスピードで、どれだけの人に戻ってくるのかについて、神戸市交通局から提供された市営地下鉄の乗客数データや関西電力などから提供された赤外線センサーで計測したデータなどを使って可視化し、モニタリングを行った。



また、令和2年11月下旬には、KDDI の位置情報データを使用し、繁華街（三宮駅北側）や観光地（王子動物園・南京町・異人館街など）の人の流れの戻り具合を可視化した。

感染者も徐々に増え始めた時期であったことから、市としてホームページで人の流れを情報提供していくことで、市民一人一人考えて行動していただくように呼びかけを行った。



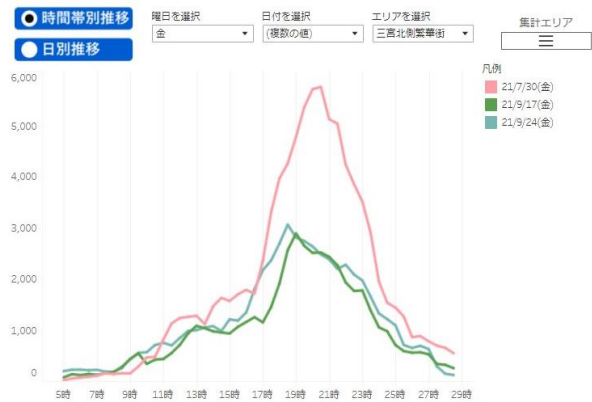
第3波の緊急事態宣言時には、感染リスクが高いと指摘されている飲食の場を避ける観点から、兵庫県より飲食店に対して20時までの営業時間自粛の要請がなされた(酒類の提供は19時まで)。

これを受け、KDDIの位置情報データを使用し、繁華街の人の動きを可視化するため、「三宮駅北側エリアに1時間以上滞在した来街者数の推移」をホームページで公開した。

「人の動きの解析」としては、その後の第4波、第5波においても繁華街の人の動き、市営地下鉄「三宮駅」及び「西神中央駅」の乗客数の推移をホームページで公開し、市民の行動変容を促した。

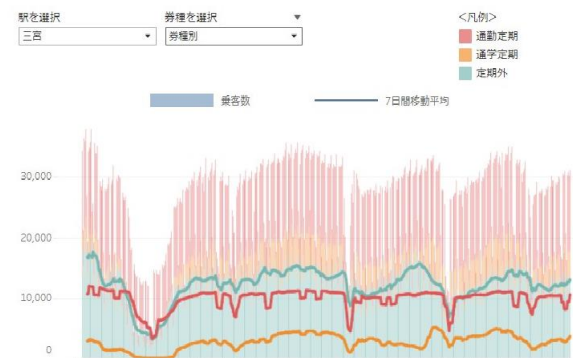
## 新型コロナ対策データ解析サイト

### 三宮エリアに15分以上滞在した来街者数の推移



### 市営地下鉄の乗客数

交通系ICカードの利用者数です。



### (オープンデータ)

ホームページには、神戸市交通局から提供された市営地下鉄の乗客数や関西電力などから提供された赤外線センサーで計測した三宮の歩行者数のオープンデータも併せて公開した。

第3波時においても、このオープンデータを使って新聞社が独自の分析を行い、記事作成に活用することで、強力な市民への情報発信につながった。

緊急事態解除後 土曜日の人出減  
神戸 休日は外出自粛モード?

金曜夜は増、仕事帰りに繁華街へ

神戸市は、関西電力などが解除後も、同市内では飲食、暖かく、外出を促せる気候... (text continues)

令和3年3月11日 神戸新聞朝刊より

## (感染者の状況)

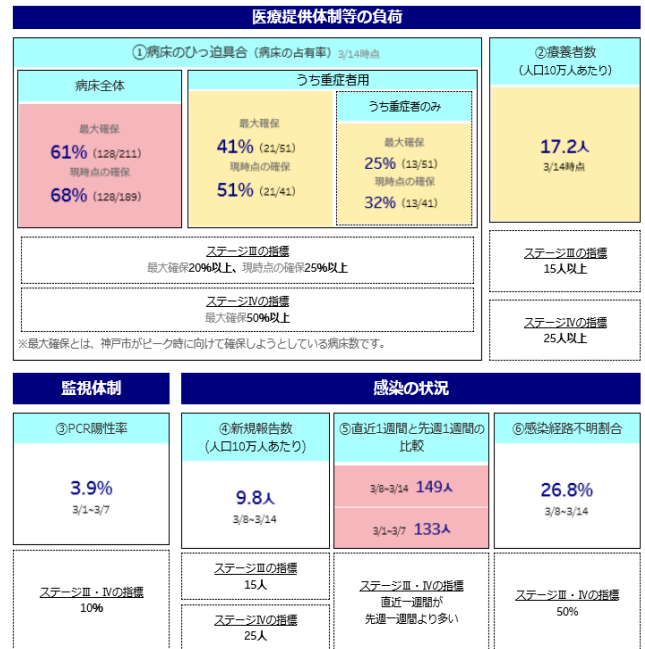
第2波以降についても継続して新規感染者数や入院患者数、PCR検査数などの「感染者情報」をモニタリングし、ホームページで公開するとともに、庁内関係局と情報共有を行った。



21/3/14 15時更新

第2波の新規感染者数が拡大傾向にあった令和2年8月7日、政府の分科会は、ステージⅠ～Ⅳの状況に応じて休業要請などの講ずべき施策を提案し、国や都道府県が現状の判断に用いる目安として6項目の指標を設定した。

政府の分科会が示したこの指標に対する神戸市の状況や期間ごとの感染状況などの比較に関する可視化を行い、ホームページに公開した。



### (ワクチン接種予約状況)

令和3年6月4日に、市民が安心して迅速にワクチンを接種できるよう、ワクチン接種予約の際に各会場の予約空き状況が分かるページを公開した。それまでは、予約サイトで各医療機関・接種会場を選択しないと空き状況が分からない状態だったが、このページの開設により簡単に市民が神戸市内の各会場の予約空き状況が確認できるようになった。

### ワクチン接種の予約状況

新型コロナワクチン接種の予約空き状況(10月21日時点)



### (ワクチン接種実績の可視化)

ワクチン接種実績の状況について、令和3年3月の早い段階からホームページで公開し、市民のワクチン接種がどの程度進んでいるのか可視化を行った。

### 接種実績 (新型コロナワクチン)

2021年10月20日までに報告があった接種実績

